

1. 件名：確率論的リスク評価（PRA）モデルに関する関西電力株式会社及び九州電力株式会社等との面談

2. 日時：令和4年4月14日（木）13：30～16：30

3. 場所：原子力規制庁 16階A会議室（オンライン開催）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 清丸検査評価室長、米林上席検査監視官、笠川室長補佐
技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 濱口主任技術研究調査官、
伊東技術研究調査官、下崎技術研究調査官、
園田技術研究調査官、西小野技術研究調査官、
後藤技術研究調査官、藤本技術参与

関西電力株式会社 原子力事業本部 安全技術グループ リーダー 1名

九州電力株式会社 原子力発電本部 リスク管理・解析グループ 課長 他3名

四国電力株式会社 原子力本部 原子力保安研修所 原子力安全リスク評価グループ
リーダー 他2名

北海道電力株式会社 原子力事業統括部泊発電所 防災・安全対策室 主任 1名

日本原子力発電株式会社 発電管理室 技術・安全グループ 担当 1名

三菱重工業株式会社 炉心・安全技術部 信頼性評価技術課 主席 他5名

株式会社 原子力エンジニアリング 解析サービス本部 リスク評価グループ
課長 他2名

一般財団法人電力中央研究所 原子力リスク研究センター 副所長 他3名

5. 要旨

(1) 3月29日の第8回検査制度に関する意見交換会合での議論を踏まえ、事業者からPRAモデルの改善に係る対応状況を聴取した。

(2) 同会合で議論があった海外専門家によるレビューについては、対応方針がまとまっておらず、後日報告することであったことから、原子力規制庁はその結果を確認の上、必要に応じ面談することとした。また、国内原子力発電所の一般機器故障率については、データ収集期間中に国内で運転中であった50基超の原子炉のうち、27基のみをデータ収集の対象とした理由のほか、今後のデータの収集方針及び品質確保の方針について引き続き、聴取することとした。

(3) 2月17日の面談に引き続き、関西電力株式会社（以下「関西電力」という。）及び九州電力株式会社（以下「九州電力」という。）は、配布資料（1）に基づき、高浜3／4号機及び川内1／2号機のレベル1PRAモデルに関する

る原子力規制庁からの質問に対する回答について説明を行った。

(4) 原子力規制庁が回答を確認する中で、関西電力及び九州電力による詳細な説明を要するものがあったことから、継続して面談で確認していくこととした。

6. 配布資料

(1) 事業者PRAモデル（川内1／2号機・高浜3／4号機）の確認のための質問への回答（レベル1PRA）（昨年12月9日の面談における関西電力、九州電力資料）

<https://www2.nsr.go.jp/data/000378643.pdf>